

2015年4月26日(日)

青木 靖

## 「希望の先駆者たち」シメオンとアンナ ルカ2章

### 1. 主と共に

ルカ 2:25 そのとき、エルサレムにシメオンという人がいた。この人は正しい、敬虔な人で、イスラエルの慰められることを待ち望んでいた。聖霊が彼の上にとどまっておられた。

### 2. 主と親しむ

2:26 また、主のキリストを見るまでは、決して死なないと、聖霊のお告げを受けていた。

### 3. 主に導かれる

2:27 彼が御霊に感じて宮に入ると、幼子イエスを連れた両親が、その子のために律法の慣習を守るために、入って来た。

### 4. 主を求める

2:36 また、アセル族のパヌエルの娘で女預言者のアンナという人がいた。この人は非常に年をとっていた。処女の時代のあと七年間、夫とともに住み、  
2:37 その後やもめになり、八十四歳になっていた。そして宮を離れず、夜も昼も、断食と祈りをもって神に仕えていた。

### 5. 主を述べ伝える

2:38 ちょうどこのとき、彼女もそこにおいて、神に感謝をささげ、そして、エルサレムの贖いを待ち望んでいるすべての人々に、この幼子のことを語った。

ヘブル 12:1 こういうわけで、このように多くの証人たちが、雲のように私たちを取り巻いているのですから、私たちも、いっさいの重荷とまつわりつく罪とを捨てて、私たちの前に置かれている競走を忍耐をもって走り続けようではありませんか。

### グループディスカッション

1. ふたりはなぜ、幼子が救い主だと分かったのでしょうか？
2. 「・・・までは決して死なない」あなただったら何を約束しますか？
3. 5つの、神様との関係において、あなたが最も興味があるのはどれですか？